



平成 30 年 10 月 16 日

各位

会社名 株式会社日本エム・ディ・エム  
代表者名 代表取締役社長 大川 正男  
(コード番号 7600 東証一部)  
問合せ先 IR部 棟近 信司  
(03-3341-6705)

## 米国子会社 Ortho Development Corporation による DePuy Synthes Sales, Inc.との「KASM」の販売提携契約締結に関するお知らせ

株式会社日本エム・ディ・エム（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：大川 正男）の米国子会社である Ortho Development Corporation（以下、「ODEV 社」）は、米国 Johnson & Johnson グループの DePuy Synthes Sales, Inc.（以下、「DePuy Synthes 社」）と ODEV 社製「KASM® Knee Articulating Spacer Mold」（以下、「KASM」）の米国市場における販売提携契約を締結しましたので、お知らせいたします。

記

### 1. 販売提携の目的

米国人工膝関節市場において「KASM」の販売拡大を目的としています。

### 2. 販売提携の内容

ODEV 社は、DePuy Synthes 社と、米国市場における「KASM」の販売提携契約を締結し、ODEV 社による継続販売に加え、DePuy Synthes 社の販売網を活用し米国の医療従事者へ販売を開始します。

### 3. 販売製品「KASM」の内容

「KASM」は、人工膝関節置換術後に感染症が発生した場合、その治療に使われます。人工膝関節部で感染症が発生した場合、既存の人工膝関節を取り除き、感染症を治療した後、新たに置換用人工膝関節を設置する場合があります。感染症治療の際、一時的に抗生物質入りの骨セメントスペーサーが必要となり、その骨セメントスペーサーの型を取るために「KASM」が使用されます。

人工膝関節スペーサーには固定型と関節型（可動型）があり、固定型を選択した場合、患者は、感染症が治癒するまでの約半年間、膝関節が固定された状態となる事から歩行が制限されますが、「KASM」は関節型（可動型）スペーサーであることから、一定程度の荷重をかけた歩行が可能となり、感染症治療中の QOL 改善に寄与します。

また、同製品は、他社の人工膝関節システムを用いた人工膝関節置換術後の感染症の治療にも対応できる製品であり、多様化する医療従事者ニーズへの対応が可能となります。

#### 4. DePuy Synthes Sales, Inc.の概要（販売提携の相手方）

① 商号	DePuy Synthes Sales, Inc.		
② 本店所在地	325 Paramount Drive, Raynham, MA 02767		
③ 上場会社と当該会社との関係	資本関係	当該事項はありません。	
	取引関係	子会社 Ortho Development Corporation が整形外科分野医療機器を当該会社へ販売	
	人的関係	当該事項はありません。	
	関連当事者への該当状況	当該事項はありません。	

（注）DePuy Synthes Sale, Inc.は、非上場会社のため、経営成績の数値等は非開示であります。

#### 5. ODEV 社の概要（当社米国子会社）（2018年3月31日現在）

① 商号	Ortho Development Corporation		
② 本店所在地	12187 So. Business Park Drive, Draper, Utah , USA		
③ 代表者の役職・氏名	President Brent Bartholomew		
④ 事業内容	医療機器の開発製造販売		
⑤ 資本金	8,532,156 (USドル)		
⑥ 設立年月日	1994年		
⑦ 大株主、持株比率	株式会社日本エム・ディ・エム 98.3%		
⑧ 上場会社と当該会社との関係	資本関係	議決権の所有(被所有)割合(98.3%)	
	取引関係	当社製品の開発、同社製品の購入等、債務保証、業務支援	
	人的関係	役員の兼任4名、駐在2名	
	関連当事者への該当状況	子会社	
⑨ 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態（単位：USドル）			
決算期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期
純資産	21,335,617	22,793,029	29,747,273
総資産	62,483,380	70,168,965	70,815,159
1株当たり純資産	1.46	1.56	2.03
売上高	66,857,635	63,399,332	75,688,407
営業利益	4,180,710	3,271,877	9,323,612
当期純利益	2,072,675	1,444,612	6,954,244
1株当たり当期純利益	0.14	0.10	0.47
1株当たり配当金	—	—	—

#### 6. 今後の見通し

販売開始は第47期（平成31年3月期 第3四半期）を予定していますが、第47期（平成31年3月期）の業績に与える影響は軽微です。

以上